

ふるさと大使 no.14



ふくしま しょうじ
福嶋 昭治 さん

園田学園女子大学教授、
源氏物語アカデミー常任
講師、源氏物語「紫式部と
越前たけふ」著者。

— 越前市との関わりや思い出は？

44年前、犬養孝先生の「越前万葉旅行」に参加したのが、最初の関わりです。その後、21年前から「源氏物語アカデミー」に連続出講。3年前からは、市の生涯学習センターで「源氏物語五十四帖を読む会」を、月に一度開講しています。

— 越前市の魅力はどんなところですか？

紫式部が暮らした土地が越前市でした。メリハリのある四季を実感し、紙や焼き物やの優れた産品を手に取り、漂着していた宋人と外交的交渉を行った父藤原為時の話で外国というものを意識した土地でした。越前での暮らしが、物語作家としての紫式部の資質を育てたのです。

— 市民の皆さんへのメッセージ

月に一度の生涯学習センターでの源氏物語の講座には、100人近い方がおいでになっています。源氏物語を読むことは、決して、人生の目標でも何でもありません。しかし、直接暮らしの営みに勤しむ大切な時間をしばし離れて、心惹かれるものに関わることは、その対象が源氏物語である必要はないことは言うまでもありませんが、貴重なことですし、尊敬できることです。越前には、そういう意味で敬意を表すべき市民がたくさんいらっしゃいます。